

令和3年度 第7回沼田市市民構想会議の概要について

- 1 日 時 令和4年2月17日（木）午後2時から午後4時
- 2 場 所 テラス沼田1階 多目的スペース
- 3 出席者
 - (1) 委員 栗原明男委員、池田進一委員、青木富士夫委員、田村博史委員、伊藤重雄委員、小野里順子委員、小林美幸委員、小林彰幸委員、小林好委員、山本隆一郎委員、田辺祐己委員 (11名)
 - (2) アドバイザー 篠田 暢之氏
 - (3) 沼田市 五十嵐副市長、諸田総務部長、小林市民部長、矢代健康福祉部長、藤井経済部長、山田都市建設部長、川田教育部長
(事務局：星野企画政策課長、生方課長補佐兼政策推進係長、五十嵐会計年度任用職員)

4 配付資料

- ・次第
- ・令和3年度第6回沼田市市民構想会議の概要について
- ・沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（進行管理）
- ・提言書案

5 概 要

- (1) 開 会（事務局：企画政策課長）
- (2) 会長あいさつ田村会長
- (3) 前回の会議結果について 【事務局から説明】
- (4) 議 題（事務局：企画政策課長）
 - 1) 「沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について
事務局から概要説明後質疑 ○委員 ●各部長等

目標1「安定した雇用を創出する」について

- 最初の目標数値が、令和元年度、2年度が未定となっているが、これはどういう意味でしょうか？
- 数値目標とさせていただいていますが、最終的な集計数値が出ていないという部分もございまして、今のところ数値目標が表示できなかったということです。
- まだ元年度のものも統計数値が出ていないということですか？
- そういうことになります。

○10ページの令和2年度の関連事業が何も書いてないのですが、これはどういうことでしょうか？どう目標に向かうのかわかりにくいのでは？

●当初、市内事業者が、事業開始の際には補助的支援的な事業を行っていましたが、現在はそういった事業を行っておりません。そういった中で情報共有や事業の紹介などで現在のところはとどめている状況でありまして、この中で事業名という部分が申し訳ありませんが記載されていないということでもあります。今後の事業につきましても事務局と協議させていただきたい。

目標2「新しい人の流れをつくる」について

○14ページの「企業の地方拠点、サテライトオフィスの誘致」で、市民構想会議の提言書に向けた皆さんのご意見の中で、ワーケーションについての環境整備の必要性があるのではないかとのご意見があったのですが、そういった部分は事業として何も取り組んでいかないということですか？

●こちらのサテライトオフィス事業については、コロナ禍により、東京の一極集中が見直され、地方への企業の関心が高まっている、そういったことなども好機としまして、企業の動向を注視し、情報収集をしながら市内への本社の機能移転や分散化を目的とした事業所の開設などを進めているところでございますが、お話のワーケーションにつきましては、観光協会ともコロナ禍で様々な支援策も出されていまして、協議をさせていただいておりますが、まだ実現に至っていないところでございます。

○12ページの施策2-1移住・定住の促進の取組内容のところ、「移住促進のために受入れ窓口」と書いてありますが、どこが受入れ窓口かわからないので、課が決まっているのでしたら教えていただきたいのと、13ページのところに令和2年度の移住促進対策事業のところ、主な取組内容の一番最後の所に「移住相談等を実施した」というのは同じ課の方がやられていて、どんな内容だったのか、もしわかれば教えていただければと思います。

●まず受入組織が2つがございますが、受け入れ先となる組織が少ないということで課題として捉えているところでございます。もう1点の移住相談会につきましては、首都圏の方で相談会とか出展し機会を捉えて手応えを感じていたところでございますが、コロナ禍の中でそういった形のイベントが開かれないうちで、Zooomとかリモート会議の中でリモート相談会という形でやらせていただいております。が、そういう所ですと、いきなり沼田市に来るといった形の訪問がいただけないものですから、成果が上がらない状況でございます。

○例えば沼田市に相談が来たときに、課とかではなくて、受入組織に相談に行くのですか？それとも市役所に来て繋げてもらうのですか？課とするとどこがしているのかわからなくて、最初の相談窓口はどこになるのですか？

●最初の相談窓口としては観光交流課で受付させていただいております。移住促進推進協議会のホームページでも窓口として受付させていただいております。

目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

○市の中ではそれぞれ提携をしながら進めていると思いますが、その辺が我々にはちょっと見えていません。

特に結婚・出産・子育ては、行政サイドで産婦人科医や小児科医の充実が一番望まれるだろうと思います。ここにあるように手順を踏まないと成り立たないということは理解できるのですが、やはり一番大事な所だと思うんですね。

常々感じるのは、勤め先がない、安心して子供を産んで育てられない状況になっていると思うので、そういうふうなことを払拭する。色々な把握と、先ほど話がありましたように、どこでどういう立場でやっているのかが見えないんです。市の広報誌を眺めてみると、一端の内容は見えていますが、細かなことが見えていない。

昨今やっと石墨の柵田のことが広報に載ってきていますが、情報を把握して市民にいち早く情報を提供するようなものをそれぞれの部課で連絡を取り合った情報発信が大事だと思います。

特に産業の関係も昔から林業の街でしたが、今は木の価値が無くなり山が荒れています。例えば笹藪になっているところを何とかできないかと常々思っているのですが、そういうことを、課を繋ぎながら把握をして何か情報発信することをまずは考えていただきたいと思います。

もう1つは、例えばこの利根沼田地域を眺めてみても、動けるOBが相当数いると思うのですが、そういうOBをうまくネットワーク化し活用してもらえようということがこれからは必要だと思います。

それはただボランティアに任せておけばいいということではなく、その人たちも多少なりとも経済的に潤うような形で活用していく。そういうことを繰り返していかないと、ただ出来る人材がそのまま埋もれてしまうのではないかなと思います。

施策3-3 教育環境の所も教育に携わったOBの先生方もたくさんいらっしゃるだろう、昨今叫ばれているのが、民間の力のあるスポーツ選手の活用をした

放課後の取組だとか、学校に応援をするだとか、そういった事業があるかと思うのですが、そういうものを全てに渡ってネットワークを作って、いい加減な形ではなく、何とか地域をダメにしないということをもう少し上手に発信できればいいと思います。皆さんがやっていないということではなくて、やっているということは十分受け止めるんですけれども、なかなか情報として乏しいという感じを受けます。

○22ページと23ページのところで、「不妊治療、不育症治療の助成」と書いてあるのですが、助成されて嬉しいのですが、他と比べて充実しているのかちょっとわからないので、もしかすると比較対象があると凄くいいのかなということと、23ページの「子供の遊び場の充実」というのは何に対して充実しているかがわからなくて、比べる対象がわからないと、良いのか悪いのかがわからないので、他より充実していて良いんだよという比較対象があるともっと分かり易くていいのかなと感じました。

●22ページの件ですが、実際に比較ができないということですが、本市の状況についての掲載で、他の自治体の状況を把握していません。不育症治療は実績がありませんが、不妊治療は年間30件の申請をいただいています、実際には、これは期間もかかりますし、お金もかかるということで年間1回、5回までが限度ではあります。が、それぞれご利用いただく中で負担の軽減を務めていくということでもあります。

●23ページの遊び場の充実ということですが、都市計画課で管理しています既存の都市公園、こちら16公園あるのですが、そちらにある遊具について更に整備をする。安全基準に沿った形で子どもたちが安心して遊べるということをもって、充実という言葉を使わせていただいております。

目標4「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」について

○最初の数値目標にある「定住自立圏における連携事業（取組）数27項目」とあるのですが、意味がわからないので説明をお願いします。

●27項目につきましては、沼田を中心に川場、片品、みなかみ、昭和で27事業について連携をしていきたいと思いますという数になりますので、それぞれの事業のことになります。

○まだ取組は実績がないということになるわけなのですか？

●実はこれは令和3年度からスタートでございますので、令和元年・2年度については実績がなく、これから実績が出てくる事業でございます。

○36ページの「空き家対策の推進」というのがございますけれども、こういった空き家解体補助金とか住宅取得希望者への情報発信ということで、市の方から出している情報はどのようなものをどのように出しているのか教えていただきたいのですが。

●都市建設部の建築住宅課の方で所管しております、市街地において人が住んでいないがために木が繁茂していたり、道路に滑り落ちそうだとしたことに対策を立てるために始めた事業です。市のホームページ等で周知し、広報でもこういった補助金があるということを知っているところでもあります。

○情報発信が隅々までなかなか渡っていないような気がして、空き家のことで相談を受けてもすぐに答えられず、市の方へ繋いだりできないものですから、できるだけ情報発信を多くしていただければというお願いでございます。

○45ページについて「地域の歴史・街並み・文化・芸術等による地域活性化」について、取組内容に挙げられている中身が非常に粗末だと思います。特に芸術であるとか文化に関して言うと、沼田市の文化や芸術による地域活性化というのは、こういう事しか無いのかなと思われまます。実際に事業としてやられていることも、この他にたくさんあると思われまますし、指標についてもたくさんデータを持っていると思われまます。例えば46ページの方にあります、スポーツの関係で言えば、スポーツの施設の利用回数であるとか、トレーニングプラザの利用状況であるとか、そういう指標も1つ出ていますし、教育関係で文化に関わる施設もあって、そういうところがより活性化するような数値目標を持ってもらってもいいと思われまます。子供に日本舞踊を教えていたり、学校に行ってその文化の継承をしていたり、後継者の育成にも繋がっている。これらは非常に良い取組だと思われまますし、そういうことをきちんと面に出して、より活性化していくような形にしてもらえるように、この数値目標なり、関連事業の方もきちんと整理していただくのが良いと思われまます。

○32ページに「中心市街地」とあるのですが、どこが中心市街地を差しているのかイメージが無くて。若い人は中心市街地がどこを差しているのか世代によっても違うのかなと。ここでいう中心市街地はどこを差しているのでしょうか？

●「中心市街地土地区画整理事業」と書いてありますが、こちらで言うところの中心市街地は国道120号の下之町の交差点からベラヴィータの交差点まで、お

よそ780メートルほどあるのですが、その両脇を北も南も70～80メートルの幅を持って8.8ヘクタールが区画整理事業としての中心市街地という位置づけをしております。

○提言書に向けて皆さんからいただいたご意見の中で、若者に魅力ある街という部分について、ここの音楽スタジオの利用者がいるのでしょうか？また設備がキーボードだとかミキサーとか付いているのでしょうか？

●数字については、音楽スタジオは延べ数で1,300人活用していただいています。当初は馴染みがないということで敬遠されていた方も多かったのですが、いざオープンしてみますと大変好評でして、中も鍵盤楽器があったり、簡単なミキサー機能も付いた音響機器の設備がございますので、活用いただけていると思います。ここの場所（多目的スペース）も中に少し大きいPA（音響拡声装置）やミキサーもございますので、ここの場所でも音楽会なり講演会なり実際に出来ています。そういった意味ではテラス自体がいろいろな意味で活用いただいているのかなと思います。

ちなみにこの部屋（多目的スペース）は今、音が響いておりますけれども、不思議なことに音があまり上にも横にも漏れないということで、会場的にも広いので活用いただいています。

また、前に中央公民館を使っていた方がテラスもそうなのですが、上之町の旧沼田教会、公園にあった教会を移設した所も大変好評でして、木造平屋建てで使いやすく、料金についてもお手頃だということで、そちらの方をたくさんご利用いただいております。来年度予算の中に、保健福祉センターの1階に広めの会議室を作りますので、市内3箇所に分かれて、今までの利用者よりもたくさんの方にお使いいただけるのではないかなと思っていますところす。

○文化の拠点の施設を作っていただきたいということで話を進めさせていただいています。今お話のありました音楽スタジオであるとか、ここもそうですけれども、1箇所で出来る方が全然利便性がありますし、活動の拠点であった施設が無くなってしまったのでやむを得ず使っているというのが実態です。

最終的には我々が望んでいるような施設を作ってもらいたいというのが私たちの願いです。中央公民館でしたら利用時間も10時まで使えましたから、それが今は9時までであるとか、利用料がかかるとか、いろいろな意味で前に中央公民館があったときから比べると、我々にとってみるといろいろな不便や負担がか

かっておりますので、その辺についても文化を振興するという意味で配慮していただけるようであれば検討していただきたい。

○私も音楽スタジオを実際利用させてもらっています。簡単な音響装置もあります。余り大きなイベントでなければ屋内でできる音響設備は揃っています。電子ピアノもありますし、一応はあるのですが、やはりスペースが狭いんですね。音楽スタジオというけれども何人も入れないですから。ステージのある施設も無くなってしまったので、音楽関係だけで考えてもそうですし、他の舞台芸能であるとか、そういうことを考えて、また整理をしていただければと思っています。

○昨年この会議でどのような意見が出されて、それがどのように反映されたのか。また、総体として内部評価されていると思いますが、全体としてこの計画が何%くらいの達成率なのか？

●進捗のパーセントとしては数字として出すのは難しいのですが、コロナの関係もあり、概ね3割であるとか、そのくらいの達成率と数字上ではなく受け止めています。ただ、数字上はコロナの関係もあり、上昇達成に対して下方の数値もございしますので、今後の課題としては非常に大きいのかなと思います。

昨年度の意見に対する反映の部分ですが、昨年度も様々な意見が出されました。例えば、目標1の部分に関しては、K G I (Key Goal Indicator) という設定が必要なのではないか。K G I は重要目標達成指標、それぞれの事業の指標ではなくて、会社であれば全体の目標が必要なのではないかというご意見がありました。が、実際にはこの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」これ自体が人口目標を立てて、これがK G I と考えていただくというようなことだったのかなと思います。

その他、沼田公園の事業の効果はどうか？というご意見に市の方から説明をさせていただいたりしております。目標3の部分に関しては、障がい分野でも慰労金を検討していただきたいなど、その他の意見も出されておりますが、実際にはこちらの計画の具体的な数値目標の変更といった形では反映はされておられません。皆さんからの意見については反映しながら事業実施をしていくというよう考え方に関係各課の事業を進めてきたと考えています。